

蹟の寶庫

明
史
城
庫

寶庫

秋



秋市觀光協會
秋市役所





萩市案内

▲花の香高き「オレンジ」街萩は毛利氏三十六万石の舊城下明治維新の原動力である尊王攘夷の精神發祥地として吉田松陰先生を始め元勳志士幾多雲の如くに輩出し今に先賢名士の遺蹟は到る所に存在す勤王興國の氣風烈々として人の魂を動するものがあり大に世道人心を鼓舞し以て國民精神作興上絶大なる價值ある史蹟と環境は天然の風光に育まれて景観美と相俟つて眞に遊覽に修學に絶好の適地として西日本隨一の稱ある名地である。

▲交通 萩市に通ずる鉄路は山陽、山陰を接續せしむる厚狭より分岐の美禰線と小郡を基点とする山口線の二線がある萩への最短距離はこの兩線の中間を斜走する三田尻、萩間省營バスである亦萩を中心として山口、小郡、萩間の二路線を運轉する民營定期バスがあり所謂交通網布かれて至便此の上もない尙この外小郡より山口線に乗換長門峡驛に下車天下の奇勝長門峡々谷の美を探りつゝ、渦ヶ原より萩市まで自動車か又は渦ヶ原より高瀬まで自動車高瀬より扁舟により阿武川下りを試み史蹟の寶庫萩を訪れるコースなごもるも趣味亦深からん。

| 面積 | 積 | 西 | 南 | 北 |
|----|-----|---|---|---|
| 五里 | 一七三 | 里 | 三 | 町 |
| 四里 | 一七三 | 里 | 三 | 町 |
| 三里 | 一七三 | 里 | 三 | 町 |
| 二里 | 一七三 | 里 | 三 | 町 |
| 一里 | 一七三 | 里 | 三 | 町 |
| 計 | 七〇 | 四 | 三 | 六 |
| 男 | 三 | 六 | 三 | 九 |
| 女 | 三 | 六 | 三 | 九 |
| 計 | 七 | 〇 | 四 | 三 |

三田尻萩間省營バス時刻表 [萩への近道]

| 行萩東 ← 發 尻田三 | | | | 行 尻田三 ← 發 萩東 | | | |
|-------------|------|---|-------|--------------|------|------|------|
| 全 | 後 | 午 | 全 | 全 | 前 | 午 | 名 |
| 5.22 | 2.2 | 8 | 11.05 | 9.10 | 7.18 | 6.10 | 尻田三 |
| 6.25 | 3.12 | 止 | 12.00 | 10.05 | 8.03 | 6.55 | 口山 |
| 8.37 | 5.54 | 山 | 2.14 | 0.19 | 1.0 | 2.0 | 萩 |
| 8.45 | 6.02 | 口 | 2.22 | 0.27 | 1.0 | 2.8 | 市萩 |
| 8.49 | 6.07 | 發 | 2.26 | 0.31 | 1.0 | 3.2 | 萩東 |
| | | | | | | | 運賃 |
| | | | | | | | 〇 |
| | | | | | | | .54 |
| | | | | | | | 1.92 |
| | | | | | | | 65.6 |
| | | | | | | | 2.04 |
| | | | | | | | 67.6 |

表刻時スバ期定間萩郡山口

| 萩發一山口行 (所要時間二時間) | | | |
|------------------|-------|------|------|
| 7.30 | 10.00 | 1.00 | 4.00 |
| 行萩一發山口 | | | |
| 4.10 | 7.30 | 1.00 | 9.40 |
| 運賃 1.40 | | | |

| 萩發一小郡行 (所要時間二時間) | | | |
|------------------|------|------|-------|
| 6.00 | 7.30 | 8.30 | 10.00 |
| 11.20 | 0.30 | 2.00 | 4.00 |
| (運賃1.50) 行萩一發郡小 | | | |
| 6.10 | 5.00 | 2.50 | 1.10 |
| 11.20 | 9.30 | 8.30 | 7.70 |
| 5.40 | | | |

長門峡探勝道しるべ

金料夫橋内案

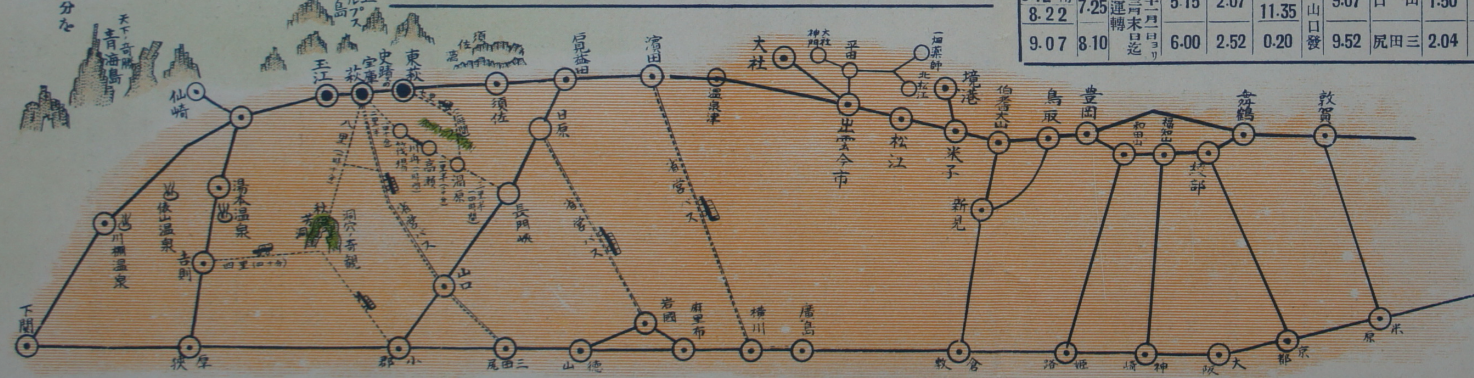
| 地名 | 金料 | 夫 | 橋 | 内 | 案 |
|-------|------|------|------|------|-----|
| 渦ヶ原迄 | 2.00 | 1.60 | 1.30 | 1.00 | 70 |
| 金堀出合迄 | 5.50 | 4.00 | 3.00 | 2.20 | 150 |
| 湯ノ瀬迄 | 8.00 | 7.00 | 5.00 | 3.80 | 280 |
| 龍宮迄 | | | | | |
| 廣滑迄 | | | | | |
| 地名 | 夫 | 金 | 往 | 往 | 往 |
| 八川舟一艘 | 4.00 | 1.30 | 1.00 | 3.00 | 全 |
| 山田迄 | 5.00 | 3.50 | 3.00 | | |
| 筏場迄 | | | | | |

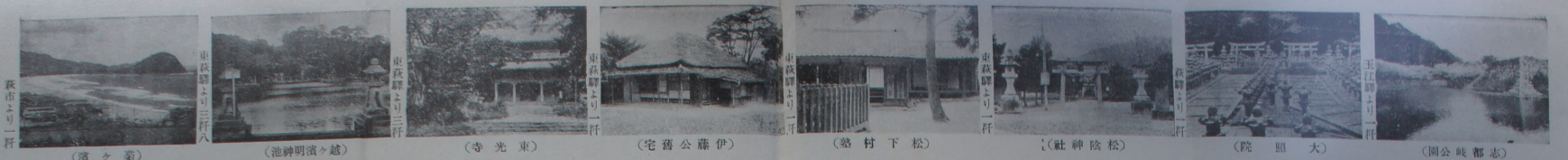
テニ歩徒

| 地名 | 所要時間 |
|--------|------|
| 長門峡驛ヨリ | 5.00 |
| 渦ヶ原迄 | 4.00 |
| 全支流ヲ經テ | 3.22 |
| 高瀬洞迄 | 2.26 |
| 高瀬洞ヨリ | 1.00 |
| 佐々木迄 | 4.00 |
| 高瀬洞迄 | 1.48 |
| 復往 | 5.00 |
| 高瀬洞迄 | 4.00 |

- ◎ 渦ヶ原高瀬間自動車は殆ど断間なく運轉す巨離一里強廿分を要す運賃五〇錢
- ◎ 高瀬筏場間川舟料金別表参照
- ◎ 夜場萩間定期バス運轉す巨離二里半四分を要す運賃三五錢
- ◎ 渦ヶ原萩間(船井廻り)直通定期バスあり巨離七里二時間を要す運賃一、五〇錢

圖畧通交光觀るすに心中を萩と絡連陽陰





市内遊覽の仕方

萩市に四ツの停車場がある内一ツは中央にある萩市駅で内を補強して走る三田尻、萩間着時バスの乗客を取扱所他の三軒は市街を迂回して走る各線別乗車の停車場江、萩、東萩駅からこの四ヶ所の停車場を利用して萩の史蹟を巡らされる方が最も利便と時間経済とせらる。順路の概略を二、三に記して見よう

○下方面より大社方面へ旅行の方は
 (一) 玉江驛下車……指月城趾公園、木戸侯舊宅、明倫館、川島兜の櫓、松陰神社、松陰先生誕生地、伊藤公舊宅
 (二) 萩驛下車……川島兜の櫓、以下玉江驛のコースに依る

○大社方面より下方面へ旅行の方は
 (一) 萩驛下車……松陰先生誕生地、明倫館、川島兜の櫓、松陰神社、松陰先生誕生地、伊藤公舊宅
 (二) 玉江驛下車……指月城趾公園、木戸侯舊宅、越ヶ濱明神池、笠山、東萩驛より乗車大社方面へ

東萩驛下車……松陰先生誕生地、明倫館、川島兜の櫓、松陰神社、松陰先生誕生地、伊藤公舊宅、松陰先生誕生地、伊藤公舊宅、松陰先生誕生地、伊藤公舊宅

○下方面より全一方向へ引返へさるる方は
 玉江驛下車の場合(一)コースに依る
 萩驛下車の場合(二)コースに依る
 東萩驛下車の場合(三)コースに依る
 大社方面より全一方向へ引返へさるる方は

史蹟と名勝

玉江驛附近
 臨濟宗の禪刹洞香山と號し大同年間不見別翁の創建と云ふ。眺望雄偉特指月城趾に好く萩八景の一つである
 萩城の遺蹟跡に存する其の昔を思ふべく陽春の候爛爛たる櫻花は鬱蒼たる指月の山色に映じて景観絶佳又初夏の候は薄く一面花青清波亂れて紅装白色とりにて美観を呈す

萩驛附近
 祭神は神代天皇、神功皇后、仁德天皇、住吉大明神、守治若皇子、文治年中長門の守護佐々木高綱の創建と傳ふ
 臨濟宗にして山雲禪社、標江にあり境内には毛利秀就、嗣廣、治親、齊藤、齊藤、六公の墓又大照公に殉死した者の墓がある。境内幽寂にして俗塵を離る所歟の赤童子は國寶である。月輪山と號し本堂は菩提觀世音菩薩(天童來)と傳へる。大照院の奥の院として存す。山號は日輪山天童來の古刹に寺内に安置せる聖觀音立像は國寶に指定せられ共に行基の作である
 文治二年本國守護佐々木高綱太宰府より分譲す云ふ社殿宏壯なり

松陰神社
 品川子出生地と花月樓
 品川彌二郎子の出生地は松本橋の東に在る今は當時の建物はなすが子が明治二十年に移して天雲の花月樓と號す。氏の遺愛の櫓の木及鳥の木の木が残つて居る
 松陰先生が明治維新の大業に活躍せる數多の後援を教導せられし舎舎にて木造五疊二室の建物萩華聖の遺蹟なり

松下村塾
 木造瓦葺の平屋にて松陰先生の愛國先覺の言が幕府の忌諱に觸れし爲此の小室に開かれし其の間草履著者に精選し益々勤王の鼓吹に努められたり先生の實業家杉氏舊家の一堂松下村塾と共に内務大臣より史蹟に指定せらる

伊藤公舊宅
 伊藤博文公の幼幼父母と共に起居せしと傳へる。建物は東郷に公の肖像がある
 伊藤の舊宅、洞國山道あり萩市を貫き、地蔵の處がある。今は散石産湯の井と先生遺愛の櫓の老木を存す四季を通じて風に當り
 洞國山と號し眞聖宗の禪林毛利家累代の菩提所にして古刹を始めて藩主諸卿の墓所と元治甲子殉難志士の墓がある。境内幽寂を極む

東光寺
 安政五年の築造にして、建築材料の鑄造地刀削の國化等に使用せる耐火粘土瓦片及煉瓦を以てして二水塔は今に舊態を存す。内務大臣より史蹟に指定せらる
 舊藩主の遊樂地にして天然鹹水池常々海風郡ななし。湖畔の風景亦幽雅なり。名辨水池とも稱し附近には幾多の風あり夏時季節に適す。天然記念物として、内務大臣より指定せらる
 山は海拔百二十米突の層火山にして頂上に經三十米突深さ二十米突の窟窟火口あり日本海を一陣におさめ眼下に六島を眺め風景雄大展望開朗なり山中には寒天帯の植物發生し又稀白生地限地として内務大臣より天然記念物に指定せらる夏季キャンプに適す

萩市驛附近

明倫館
 毛利吉元制法三州の文教振興武進學塾の爲享保三年堀内に創設せるものを享保二年改組現在の地に移築擴大せしもの、一部にして演武場、南木水練池前等を含む。明治維新の大業を實踐するに至りしは實に此の館の力と云ふべし

木戸侯誕生地
 木戸侯は和田自景の子にして天保四年六月二十六日の家に生れ八歳の時隣家柱九郎兵衛の養子となり實家に養はる。後桂小五郎と志士として國事を奔走する間も屢々此の家に往來せらる。孤々の聲を揚げてたる産室も幼時の舊齋室庭園に至る迄舊態其儘を存す。南古萩にあり松陰先生門下。像儼然と在る。萩の歴史に四境の役に偉功あり。舊宅も今尙存一部改造せられたる。本棟は舊建物なり

岩倉獄と野山獄
 上年を野山獄、下年を岩倉獄と云ふ。昔岩倉直盛が狂氣を以て野山清左門宅へ切り込み死者を出したので、兩家共殺せられの後獄舎となつたものである。野山獄は吉田松陰先生を、岩倉獄は動玉の志士金子重幹が囚はられたので有名である。其の跡に十一烈士の碑がある。岩倉獄は動玉の志士金子重幹が囚はられたので有名である。其の跡に十一烈士の碑がある。岩倉獄は動玉の志士金子重幹が囚はられたので有名である。其の跡に十一烈士の碑がある。

御船藏の遺跡
 濱崎町にあり舊藩時代藩主毛利氏の巨船を繋留せられたる船藏であり今より二百餘年前の建造にして周圍は巨大なる石を以て築き上げたる雄大な壯麗なものでありし。遺蹟と共に一部は取除かれし今尙當時を偲ぶべし

其の他明治維新に因る偉人傑士の誕生地と舊宅地としての遺蹟は市内到處に在る

| 四季の萩 | |
|------|---|
| (春) | 指月公園、川島兜、春日神社、南明寺、松陰先生誕生地の櫻、梅は大照院、合谷天神と多感天神社、志都神社、櫻寺、南明寺下の寺のつづき、香雪園の藤 |
| (夏) | 舊萩城跡、明倫館の花見池、昔葉の指月山、阿武川の鳶、笠山登山ミキヤン、明神池畔の風 |
| (秋) | 笠山登山ミキヤン、阿武川の鳶、阿武川の鳶、阿武川の鳶、阿武川の鳶、阿武川の鳶 |
| (冬) | 阿武川鐵橋附近六本松の雪景、ふぐ料理、四季の朝露、夕靄 |

| 萩八景 | |
|----------------------------|--|
| 上津江の晴嵐、中津江の夜雨、下津江の落雁、船江の夕照 | |
| 倉江の歸帆、玉江の秋月、標江の暮雪、小松江の晚鐘 | |

| お土産 | |
|-------|---|
| 菓子類 | マーマレード、夏みかんジャム、シロツブク漬、シロツブクラッシュ、夏みかん丸漬、夏みかん皮菓子、大徳寺松風、味噌漬餅、おやき |
| 織土玩具 | 木製玩具、木彫人形、竹細工品 |
| 水産加工品 | 蒲鉾、味噌干、莞蔵漬、雲丹、縮緬菓子、魚の玉子漬等、鰯、若布 |
| 果物 | 夏みかん |
| 他 | 蜂蜜(夏みかんの花の香りがして風味独特なものがある)、陶器萩焼 |

| 乗物案内 | |
|---------------|---|
| ●乗合自動車(定期) | |
| (一)萩驛越 | 濱線六區貨金三十銭、一區五錢運轉時間午前七時半午後五時三十分但し夏季は六時迄 |
| (二)玉江驛本線 | 四區貨金二十銭、一區五錢運轉時間午前七時半午後七時五十分、此の外四月には東町、指月公園間に花見月、七八月には東町町馬場、濱間に海浜市場行臨時バス運轉す |
| ●史蹟名所遊覽バス(定期) | |
| (一)萩驛越 | 一週貨金一圓以内團體割引あり、三時間以上は「全」全、六人乗一臺(三時間以内)全四圓、六人以上は増賃金 |
| (二)玉江驛本線 | 「全」全、六人乗一臺(三時間以内)全四圓、六人以上は増賃金 |
| (三)上津江 | 「全」全、六人乗一臺(三時間以内)全四圓、六人以上は増賃金 |

| 萩附近の名勝地 | |
|-------------|----------------------------------|
| 西には天下の奇勝 | 青海島(萩より島の遊覧船あり十八乗一艇十回片道五時間) |
| 南には洞穴の奇観 | 秋芳洞(萩驛の便あり六乗一臺片道七回往復九回所要時間一時間十分) |
| 北には日本海の絶景須佐 | 須佐(萩の便あり) |
| 萩沖合近海海上 | アラスカ(遊覧船五時間以内約五圓) |

萩市役所観光係

電話 二二三 六九五 番番番

萩市役所観光係の案内、観光の便利をお知らせいたします。萩市は自然豊かな観光地であり、歴史ある史蹟も数多くあります。観光の際は、ぜひお訪ねください。

お土産



松名菓 本舗 岡村支店
新川町電五七〇番

萩土産 光國 義太郎
熊谷町電二三九番

萩土産 磯村 義雄
唐樋町電三五〇番

御料理

唐樋町 高向 大亭
電話三〇〇五番
うれし野 電話一七〇番
梅月庵 電話三二七番
川島 醉月 電話一〇四番

旅館

常茂 惠
唐樋町電二七五番
三四四番

一二三旅館
唐樋町電三一〇番

旅館 中村 屋
渡り口電三〇三番

富田屋旅館
橋本町電二六番

高木屋旅館
吉田町電六七番

田中屋旅館
雁島橋際電三〇一番

乗切 防長自動車會社
長州萩市電一八、二一四番

市内バス、貸切、
巴自動車商會
唐樋町電二六五、五四六番

長門峡バス、貸切、
太陽自動車商會
唐樋町電二一九、四六四番

吉山旅館
上五間町電五二番

京阪屋旅館
西田町電二七四番

大阪屋
唐樋町電五八番

好日館事
田阪屋旅館
唐樋町電一〇九番

御料理館
大阪屋

北野印刷所
濱崎町電二三一番



御料理館 丸一
西田町電三六番

羽島巡航船
井町 清輝
電三四五番
三六五番

快速船 第一、二つばめ號